

2020年10月吉日

健保だより52

新電元工業健康保険組合
理事長 白羽 真

日頃より健保組合の取組みに対し、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

夏の日差しがすっかりと和らぎ、日に日に秋らしさが感じられるようになって来ました、皆様、体調など崩されてはいませんか？

さて、暑さに耐えながらマスクを着用し感染予防を心掛けてきた、厳しく辛い初めての夏がいよいよ終わろうとしています。今後、徐々に気温と湿度が下がると、我々も過ごし易くはなりますが、ウイルスも感染性を維持出来る時間が長くなると予想されています。

新型コロナウイルスに対するワクチンは未だ完成しておらず、軽症や中等症の患者に有効であることが確認された治療薬が無いまま、ウイルスが勢いを増したならば、と想像すると不安になる人も多いことでしょう。

一方で、例年9月初旬には、数百人レベルの患者数が報告される『インフルエンザ感染者』ですが、今季は異例の低水準スタートとなっているというニュースはご存知かと思えます。

これは、新型コロナウイルスの感染予防のために実践している対策で、手指消毒やマスク着用の徹底など、国民の衛生意識の高まりが影響していると厚生労働省はみており、引き続き予防の取組みを徹底して欲しいと呼び掛けています。

インフルエンザは、通常1月から2月にかけてピークを迎えますが、今季は新型コロナウイルスとの同時流行『ツインデミック』が懸念されています。もし、インフルエンザと新型コロナウイルスを同時感染した場合には、症状が重くなる危険性もあると指摘されていますので、より一層の注意が必要となります。

そこで、有効となる予防策として、WHO（世界保健機関）も今年はインフルエンザ予防接種を積極的に受ける様に勧めています。

気になるのは有効期間ですが、効果の持続は約5ヶ月です。通常成人の場合、1回の接種で2週間から血中の抗体の量が増え始め、4週でピークに達し、3～5ヶ月後から低下していくと言われています。

よって、ワクチン接種の最適な時期としては10月上旬～12月中旬までの本格的な流行前がお勧めとなりますが、今季の予防接種時期については厚生労働省より別途お願いが出されており、原則として予防接種法に基づく定期接種対象者（65歳以上の方等）の接種希望者を10/1から開始していき、それ以外の方は10/26まで接種をお待ちいただくようになります。以後、医療従事者、65歳未満の基礎疾患を有する方、妊婦、乳幼児（生後6ヶ月以上）～小学校低学年（2年生）の方々を先ずは優先的に接種が可能となります。

当健保組合としましても、インフルエンザ予防接種費用を一部補助（一律1,000円/人）していますので、是非ご活用下さい。

感染予防策と対策を徹底し、今季はコロナウイルスもインフルエンザも“感染者ゼロ”で乗り切りましょう！

以上